

8月22日のウクライナ情報

安齋育郎

●「確信は消えつつある」元米軍司令官が宇支援に関する西側諸国の決断力について語る(2023年8月20日)

米国の駐欧州陸軍司令官を務めたベン・ホッジス氏は、米国とドイツ両当局がウクライナへの兵器供与を引き延ばしているのは決断力が足りないからだと考えている。独紙ターゲスシュピーゲルが報じた。

「西側諸国はウクライナの勝利を望んでいるのだろうか？ 私の確信は消えつつある」

ホッジス氏によると、米政府は同盟国のデンマークとオランダが米国製戦闘機 F16 をウクライナに供与することを承認したが、米政府がもたもたしているのはウクライナ支援における「決断力の欠如の一例」だという。

同氏は、巡航ミサイル「タウルス」の供与をめぐるドイツ政府の行動も批判した。ホッジス氏は、ウクライナ軍の反転攻勢が失敗した場合には米国とドイツ両政府がその責任を負うべきだという考えを示した。

先に、ウクライナ側について参戦した米国人傭兵らがロシア軍相手の交戦について語った。



●宇軍が F16 の操縦習得に要する期間を米空軍大將が語る(2023年8月20日)

ウクライナは米国製 F16 戦闘機の第 1 陣を来年受け取るかもしれないが、現地要員の経験が不足しているため、十分に高いレベルで扱えるようになるためには最大 5 年かかる。Breaking Defense が在欧・アフリカ米空軍司令官のジェームズ・ハッカー大將を引用して報じた。

ハッカー氏によると、ウクライナは飛行時間が実質ゼロの若いパイロットを F16 の操縦訓練に派遣している。

「彼らはプロペラ機である程度訓練する必要がある。その後、彼らはアルファジェット(編注:ジェット攻撃・練習機)で飛行するためにフランスへ行く。これにはすべて時間がかかる...したがって、少なくとも来年まではウクライナで F16 を見ることはないだろう」

ハッカー氏はまた、ウクライナのパイロットたちは飛行を開始する前に英国で英語の語学コースを受講する必要があると付け加えた。同氏は、F16 の「2 機編隊」を組み、それらの十分なレベルの「準備態勢とプロフェッショナリズム」を達成するには数年を要するとの見方を示し、「これには 4~5 年かかる可能性がある」と述べた。

17日、米国が同国製の第4世代戦闘機F16をデンマークとオランダからウクライナへ供与することを承認したと報じられた。



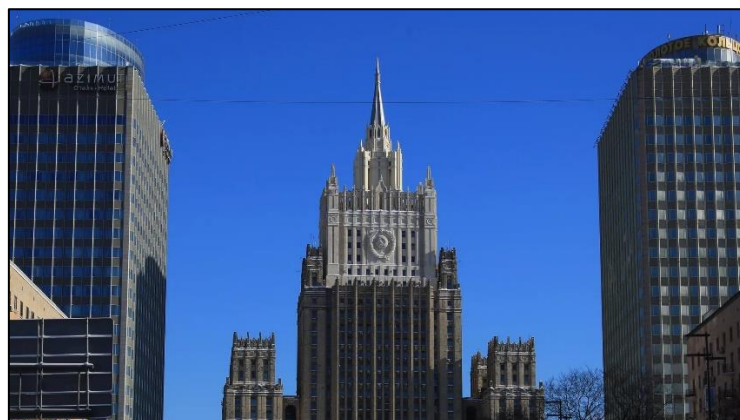
●「世界の他の地域でも利用されるだろう」露外務省、MI6によるウクライナ破壊工作部隊養成に関する情報にコメント(2023年8月19日)

ロシア外務省のザハロワ報道官は、英国の秘密情報部(MI6)がウクライナの戦闘員からなる破壊工作部隊を養成したという情報についてスプートニクにコメントし、北大西洋条約機構(NATO)とウクライナのつながりがアフリカにおける紛争の可能性を人為的に高めていると指摘した。ザハロワ氏によると、ロシア側は課題を解決するために世界の他の地域でもウクライナの破壊工作員を利用するという英国当局の意図を認識している。

「リチャード・ムーア氏率いるMI6が最近、我が国に対するキエフ政権によるテロ攻撃の計画および実行への自らの関与を公然と誇示していることを考慮し、我われは課題を解決するためにウクライナの操り人形を世界の他の地域でも利用するという英国当局の意図を認識している」

ザハロワ氏はまた、これは特に旧植民地における英国政府の一見揺るぎない影響力が脅威にさらされていることに関係していると指摘した。

「すでに作成されたスキームによって、NATOとウクライナのつながりはアフリカにおける紛争の可能性を人為的に高めている。また、英国の新植民地主義者の野望を実現するために、アフリカ人とウクライナ人は代償を払うことになるだろう」



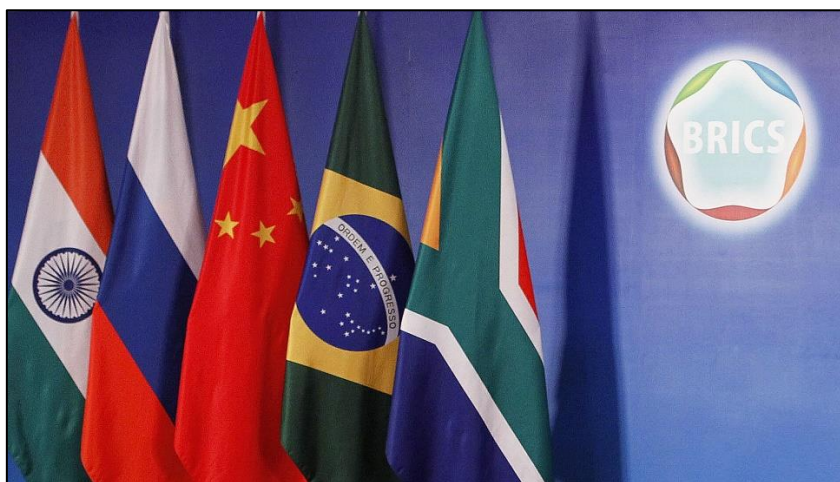
●【視点】「BRICSで起きていることのほうがG7の中の出来事よりもはるかに重要」 =専門家(2023年8月19日)

8月22日に3日間の日程で開幕する南アフリカ共和国での BRICS サミットを目前に控え、アルゼンチン人のアナリスト、ホルセ・カストロ氏は、世界の経済にとっては今や BRICS の意義のほうが G7 より大きいとの見解を表している。カストロ氏はスプートニクからの取材に答え、BRICS は「代替陣営」より大きいと指摘し、その理由は BRICS には過去数年の世界経済の成長に最大の貢献をなした数か国が含まれているからだと言った。

カストロ氏は、アルゼンチンにとって南アフリカでの BRICS サミットは「非常に重要性が高い」と指摘し、それは新開発銀行への参加の機会が得られるだけでなく、世界経済と地政学にとってのブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカのパートナーシップの重要性が高まっているからだと言っている。

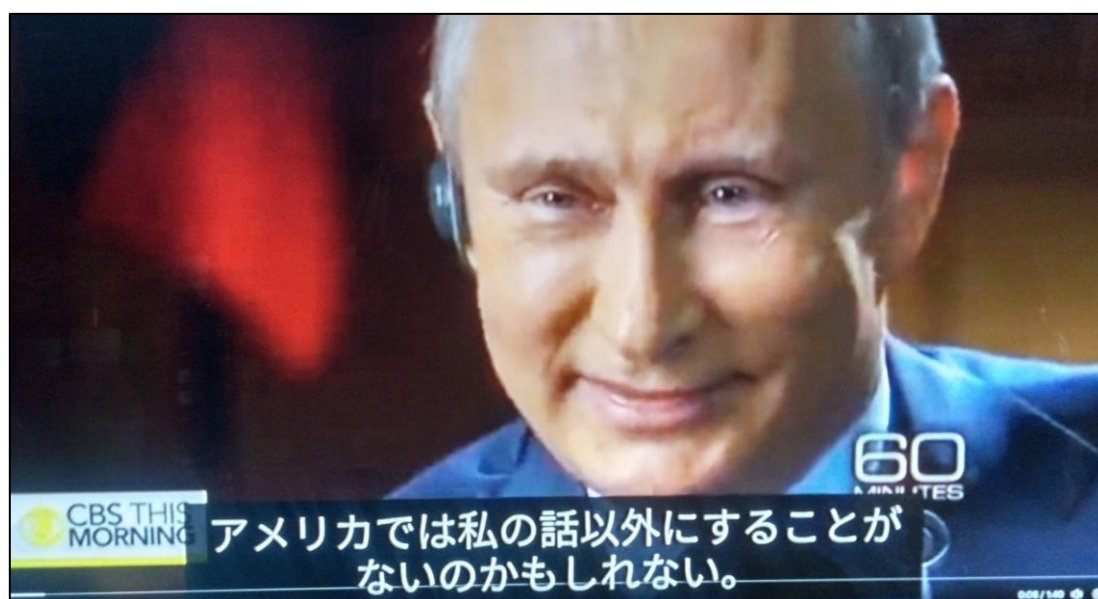
「世界にとって、そして特に発展途上国にとっては、BRICS で起きていることは G7 の中での出来事よりもはるかに重要で関連性がある」

カストロ氏は、BRICS 銀行の成長は、世界システムの基本的な傾向をすでに反映しているとし、世界経済においては発展途上国、特にアジア地域の発展途上国の方へのシフトが起きていると言っている。



●CBS がプーチンをインタビュー(2015年、投稿日:2023年8月17日)

<https://twitter.com/i/status/1692157731124478076>



●ウクライナの著名弁護士のゼレンスキー批判(2023年8月19日)

※安齋注:いよいよこうした発言が公然と出るようになりましたか。

ウクライナの弁護士で著名な公人であるセルヒー・クリジャノフスキー氏は、全ウクライナ国民を代表して汚職まみれで裏切り者のゼレンスキーに自発的に退場するよう呼び掛けた。

<https://twitter.com/i/status/1692685175136952428>



●ラブロフ外相の雑誌『インターナショナル・ライフ』インタビュー(2023年8月19日)

米国とその配下の国々による無思慮な政策こそが、私たちが多年にわたりその防止に努めたにもかかわらず、現在の国際情勢の悪化を不可避なものにした。つまり欧州安全保障の本格的な危機は、その全責任を我が国のかつてのパートナーが負うのである。

現代ロシアは自らの使命を、世界の利益均衡の維持と国際関係のより公正な構造を構築することにあると考えている。我々共通の普遍的優先事項は、統一的アジェンダに基づき、平和で着実な人類の発展に向けて条件を整えることにあり、私たちは信じている。

ウクライナ紛争における大きなリスクは、米国と NATO 諸国が事態をエスカレートさせる中で、核大国が直接軍事対決をする状況につながる恐れがあることだ。このような事態の展開は防がなければならない、また防ぐことができると私たちは考える。

私たちが理解すべき重要な点は、西側がロシアを重大な地政学的ライバルとして排除したがるということである。まさしくこの点こそが、米国と NATO が我が国に対してハイブリッド戦争を仕掛けた理由なのだ。

西側は、ロシアがあらゆる手段を用いてその人民と重要利益を守ることを理解する必要がある。そして私たちに敵対する者は、ロシアとの対立が無益であることをできるだけ早く認め、より文明的で政治外交的な手段による利益均衡の確保に移行した方がいいだろう。

他国に『人生について説教』をしたり、誰とどのような関係を持つべきか指示したりすることは、私たちの良しとするところではない。ロシアは、隣国やパートナー諸国が誰と協力関係を築こうが彼らに対してこれを禁止することはないが、我が国の法益に配慮することは常に求めている。この思いは彼らに届くと私は考えている。



●2014 年から何も変わっていないウクナチ(2023年8月18日)

7 年前 NHK BS 海外ニュース ウクライナ軍、東部を無差別攻撃。

<https://twitter.com/i/status/1692517844599410952>



そしていま:ウクライナ軍、クラスター爆弾でドネツクを砲撃




●大量の死傷者、飢餓と逃亡でウクライナ軍は崩壊している！一部の部隊では10人中8人以上が負傷、または死亡(島倉大輔、2023年8月19日) 映像:18分40秒

<https://www.youtube.com/watch?v=Nzfl7HdihOs>

Main Russian objective in Ukraine already achieved – Lukashenko

Moscow has ensured Kiev will never again be a threat, the Belarusian president has said



Russia has already achieved the principal aim of its military operation in Ukraine, Belarusian President Alexander Lukashenko claimed in an interview aired on Thursday.

"As of today, the goals of the special military operation have been met," Lukashenko told Ukrainian journalist Diana Panchenko, during a two-hour interview posted on YouTube.

ルカシェンコ大統領、ウクライナにおけるロシアの主な目的はすでに達成されている。ロシアはウクライナが三度と脅威にならないことを保証したと発言

Vladimir Putin objectives.

●ウクライナ軍人へのエイズ実験、バイデン、ハンターバイデン、生物兵器、ゼレンスキーの脅迫(Redacted, 2023年3月7日)

※クレイトン・モリス進行の番組。Redacted News はアメリカの保守派メディア。

<https://twitter.com/i/status/1632814945527267328>



長い映像だけど、ぜひご覧下さい。

●ドイツ人もフランス人も、戦争を始めた責任は米国と NATO にあると考える人が多い！(2023年8月18日)

<https://twitter.com/i/status/1692302623926566948>

